

こんにちは、 日本共産党井上けんじです

日本共産党南地区委員会 ☎ 371-9164 自宅 ☎ (FAX 兼用) 6 9 1 - 3 3 2 3

日本共産党京都市議員団 ☎ 2 2 2 - 3 7 2 8 FAX 211-2130 '16年 10月 30日号

市議員団ホームページ <http://web.kyoto-inet.or.jp/org/cpgkyoto/> E-mail cpgkyoto@mbox.kyoto-inet.or.jp



町内団結の力で

「民泊」撤退が実現

西九条弘道学区の町内で、業者が予定していた「民泊」進出計画の撤回が実現しました。説明会での反対意志の表明、区保健センターや市への要請・働きかけ、手書き看板の掲示（写真）など、町内での一致結束した運動が実りました。10月21日の話し合いの場で、業者の方から「既にウチが買っている物件（空き家）について、民泊計画をやめ、一般の借家として活用したい」との表明がありました。

更に町内から、「貸家にした場合、借主の居住以外の使用、例えば、また貸し民泊等があれば、即、賃貸契約を解除する旨、契約書に明記する」との文書要望も提出、これについても、「居住用として貸し出します」との回答を得ました。

しかし同町内では、最近、空き家になった別の物件も存在し、「買い主募集」のチラシ広告が出回った途端に、別の不動産業者が「買って民泊にする予定」と、同物件を下見に、

町内を徘徊して見ました。「近所に反対の看板が貼ってあるので予定は撤回かな」と言いながら去って行った、この町内住民の方の話ですが、これも予断は許しません。

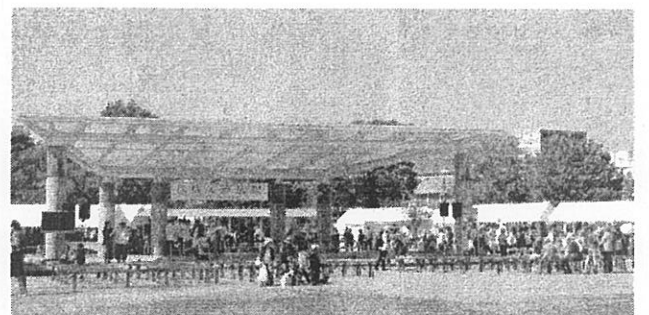
井上議員が再考を求める市議会委員会

西大路駅のバリマンミー乗り入れを

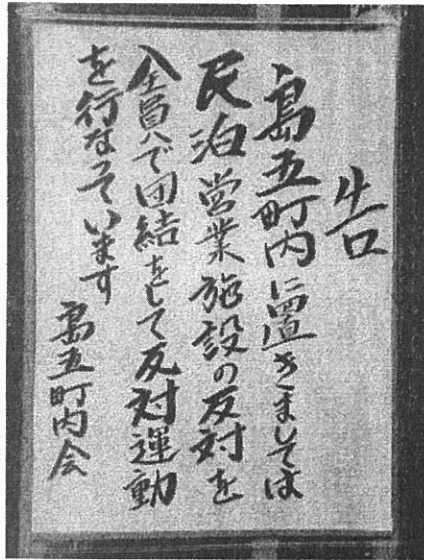
9月29日、JR西大路駅のバリアフリー化をめざす「連絡会議」が開かれました。しかし、示された案は、全く期待に反する内容でした。「連絡会議」とは、

地元代表や学識経験者、障害者団体、行政やJR

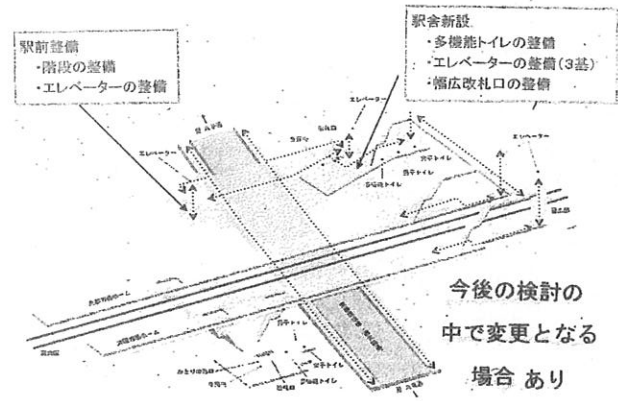
定は撤回かな」と言いながら去って行った、この町内住民の方の話ですが、これも予断は許しません。そんな状況ですから、撤退業者から「看板の撤去を」と求められましたが、一部は残すことで妥結しました。



市主催、福祉ほほえみ広場（梅小路公園 10/15）



手作りの看板が大きな力を発揮しました。



労基法改悪反対集会で勉強（10/12）

地元代表や学識経験者、障害者団体、行政やJR関係者などで構成されています。当日示された案は、駅の一番東側に線路をまたぐ陸橋や、エレベーターを設置、線路と西大路通りの東北角に駅舎と改札を設ける、というものです。駅の上を新幹線が走っているとはいえ、この

案では西南角の現駅舎は、全くの力ヤの外です（図は、鉄道と西大路通りが交差、左下が現駅舎）。20日の市議会まちづくり委員会で、井上議員は、「強い批判がある。市の資料でも『既存駅舎についても、引き続きJR西日本と協議していく』と書かれている。今回の案については再考すべき」と求めました。

最近の相談から

- ◎ 転居の相談、家探し。
- ◎ 熟年離婚・家探し、今後の生活確保。
- ◎ バス停の改善。
- ◎ 融資の相談。

